

行歯会だより(第11号)

2006年4月(毎月発行)

(行歯会 = 全国行政歯科技術職連絡会)

全国の行歯会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか? 新年度を迎え、異動された方も多いと思います。また介護保険の改正等、ますます忙しく日々活躍のことと存じます。行歯会も2年目に突入し、さらにパワーアップしていくことを期待しています。

今回の「地域紹介 わたしの街自慢!」は兵庫県からのバトンタッチで、福島県の沼田先生です。

「みちのくの玄関口 福島県」

福島県保健福祉部健康衛生領域健康増進グループ

医長 沼田 匠

行歯会の皆様、いかがお過ごしでしょうか? 福島県保健福祉部健康衛生領域健康増進グループの沼田です。行歯会からの情報をいつも参考にさせていただいております。全国各地からの事業実績をはじめ、先月号の兵庫県からご紹介いただきました「節食嚥下障害対策事業」でのビデオ等も県内各地から好評で、活用させていただいております。

年度開始ということもあり、皆様お忙しいことかと思いますが、「みちのくの玄関口 福島県」を紹介させていただきます。

福島県は北海道、岩手県に次ぐ全国第3位の面積があり、気候や文化、地域によっては方言も異なります。山間部が多く、内陸部の主要3盆地、海沿いの平地部からなります。気候と地形により大きく3つに区分され、浜通り、中通り、会津地方に区分されます。行政と経済、医療保健では7圏域に区分されています。市町村数は合併により90市町村が61市町村となりました。(平成18年3月20日現在)



福島県の観光名所・名物は、

- 1 勇壮美麗な「二本松提灯祭り」と「二本松の菊人形」(二本松市)
- 2 自然と幻想美あふれる「あぶくま鍾乳洞」(田村市)
- 3 豪快な「須賀川松明あかし」(須賀川市)
- 4 年始の名物「白河だるま市」(白河市)
- 5 自然の景観が織り成す「猪苗代湖と磐梯山」(写真:主に猪苗代町)
- 6 幕末戊辰戦争で有名になった「会津若松の鶴ヶ城」(会津若松市)

- 7 古くからの伝統的な町並み「大内宿」(下郷町)
- 8 有形文化財の舞台上で上演される伝統の「桧枝岐歌舞伎」(桧枝岐村)
- 9 皆様ご存知?の「尾瀬」(写真:桧枝岐村)
- 10 日本三大祇園祭の「田島祇園祭」(田島町)
- 11 重要無形文化財の「相馬野馬追」(写真:相馬市)

などがあります。その他にも多数ございますので、ぜひとも一度来県してはいかがでしょうか？

交通機関としては、東北新幹線、福島空港、東北自動車道をご利用いただきますと大変便利です。

7 猪苗代湖と磐梯山



12 尾瀬



15 相馬野馬追



福島県までの主な所要時間は、東京駅～郡山駅までが約79分、東京駅～福島駅までが約87分です。県中央部に位置する福島空港は、札幌、名古屋、大阪、福岡、沖縄にアクセスしています。福島空港からの県内主要地域まではリムジンバスやシャトルバス、乗り合いタクシーが運行されております。本県にお越しの際は、ぜひともご利用ください。特産品としては、原発立地県の証の電気？や米、日本酒、桃、さやいんげん、そば、繭(蚕糸)、今や健康の敵、葉たばこなどです。

続きまして本県の歯科保健事業を2つ程ご紹介させていただきます。

1つ目は平成15年度より実施しています「ヘル歯ーライフ8020普及推進事業」です。歯科保健に関する情報を子ども達に普及・啓発・定着させる目的で実施してまいりましたが、今までの普及・啓発方法では興味を持ってもらえないのでは・・・と考え「子ども達が共感できるよう、子ども達自身による、子ども達のための普及啓発材料を提供しよう！まずは子ども達自身が楽しまなくちゃ定着しない！」と思い「擬似授業科目」と「歯みがきサンバ」を試案しました。子ども達が歯科保健を身近に感じられるよう、普段学校で実施している授業(科目)に歯科保健を当てはめた教材を作成し「音楽科」に子ども達自身が歌い、参加できるよう「歯みがきサンバ」を組み入れました。教育現場でも導入しやすいということもあり、短期間で多数のご利用のお声をいただきました。しかしながら、この事業の後、学校現場から「子ども達も曲に飽きてくるので、次の曲を作ってほしい。」とお声をいただき「子ども達も飽きるよなあ」などと反省しながら、少しでももう蝕が減少し、結果に出る

ことを祈り、日々過ごしています。

2つ目は、「歯と口の健康教室の開催とフッ化物応用モデル事業」です。平成16年度から実施したモデル事業ですが、フッ化物洗口をより確実に定着させるため、前年度までに作成した教材を利用し「健康教室」「学校説明会」「フッ化物洗口」を一本化した事業としました。事業立案後に同じ東北地方の秋田県で、幼稚園でのフッ化物洗口事業が立案中とのことから、教職員組合からのフッ化物洗口反対の動きを想定し、事業実施対象年齢を逆行させて、低年齢から実施し継続拡大を目指すのではなく、教職員組合などのより警戒心の少ない高学年から普及させようと計画しました。秋田県の臼井先生にも御協力いただき、また教職員組合に加入している養護教諭からも情報収集しながら対策を練りました。モデル校は中学校です。事業終了後、モデル校となった1校から連絡があり、モデル校のある町で町内全小学校がフッ化物洗口を実施するとの報告がありました。平成17年度、協力校でビデオ録画しましたので、皆様の目に触れるかもしれません。



画像は歯科禁煙キャラクター「たばこスワン」です

最後に、本県では長年歯科医師の採用は見送られて参りましたが、3年間の試験運用期間が過ぎ、今年度ようやく正式に歯科医師(すみません、自分です。)が採用となりました。ご指導いただきました皆様に感謝申し上げます。また、平成15年度から共に東北地方に赴任し、公私共に交流させていただき、本県の保健所職員にもご指導、ご協力いただいていた臼井先生のご冥福を祈り、締めくくらせていただきます。長々と乱筆にお付き合いいただきありがとうございました。

理事のひとり言 (その10)

和歌山県福祉保健部健康局健康づくり推進課

得津 康子



すっかり散ってしまった桜の花びらの上をピンクの絨毯よろしく踏みしめながら職場に向かう毎日ですが、新年度ほけからも花見ほけからも醒めやらぬまま4月も半ばを過ぎてしまいました。

行歯会会員の皆様こんにちは。近畿ブロックで理事をさせていただいております得津です。

早いものですね、行歯会が発足してあつという間に1年が経ちました。今回、このような機会を与えていただいたことで、これまでアップされたメッセージ数を改めて確認すると実に800を超える数に達しております。この行歯会が情報提供の場、意見交換の場としていかに素晴らしいかは、私などが言うまでもありませんが、少数職種として頑張る全国の歯科専門職にとっては、自分自身を奮起させるツールのひとつとなっているのではないのでしょうか。(私なんかは、時々自分のキャパの狭さ故、皆さんから寄せられる情報の内容にアップアップしておりますが…)

いずれにしても、一年前、いえそれよりもずっと以前から行歯会発足に向けてご準備いただき、また設置以降の管理・運営にご尽力されている先生方に感謝し、敬意を表するばかりです。

さて、私事ではありますが、行政の歯科衛生士として勤務し始めて今年10年目を迎えることとなりました。志を持って行政を目指したものの臨床とのギャップと自分の仕事がまったく見えない状況から勤務1か月目で入庁したことを後悔(今思えば5月病? そんな繊細なキャラではないくせにという声が聞こえてきますが…)しつつも、今日に至っております。私が行政に入ったのは、地域保健法が本格施行されはじめの平成9年度のことで、歯科衛生士という職種が県行政に配属されたのは、後にも先にも1名という寂しさです。しかしながら、現実には現実と、ある意味諦観し、その中で連携できる他職種(仲間)を増やすための努力を忘れずに少数でも存在感のある職種でありたいと願っております。

こんなに孤独なのは、私だけと思っていた入庁間もない頃を振り返りながら、今このように悩みを共有できる皆さんの存在に感謝して、初心を忘れず20年目に向けてスタートしたいと思います。

とりとめのない話しにお付き合いいただき、ありがとうございました。行歯会と皆様のますますのご発展・ご活躍をパソコンの前から祈っております。

ニュース

臼井さんの功績たたえ「歯科保健功労賞」創設へ / いなほ転覆で犠牲に

県は、昨年12月のJR羽越線いなほ脱線転覆事故の犠牲になった県健康対策課の臼井和弘さん(34) = 当時 = が、虫歯予防運動の推進に奔走してきた功績をたたえ、「臼井記念歯科保健功労賞」(仮称)を創設する方針を固めた。

歯科医でもある臼井さんは、15年9月に厚生労働省から派遣され、県庁で歯科保健対策担当となった。翌16年度にスタートした県のフッ素洗口事業を推進するなど、本県の虫歯予防対策の先頭に立ち取り組んできた。

表彰は、毎年秋に開かれる県歯科保健大会で行われることになる。

秋田魁新報社 (2006/03/17 10:24)

お知らせ

・国立保健医療科学院:

(1) 臨床研修指導歯科医(保健所)養成コース

期日: H18.8.23 日(水) ~ 24(木)

場所: 国立保健医療科学院

近日中に関係機関宛に案内文書を送付する予定

(2) 歯科衛生士研修

期日: H19.1.15(月) ~ 1.26(金)

場所: 国立保健医療科学院

定員: 20 名

申込: H18.10.2(月) ~ H18.10.31(火)までに国立保健科学院へ郵送

<http://www.niph.go.jp/entrance/h18/418sika.html>

・日F会議(NPO 法人・日本むし歯予防フッ素推進会議)

第 30 回記念むし歯予防全国大会

期日: H18.10.28(土)

場所: 東京歯科大学水道橋病院(血脇ホール)

内容: 基調講演 E.Newbrun

シンポジウム(仮題)「フロリデーション実現への課題」

・第 55 回日本口腔衛生学会

期日: H18.10.6(金) 7(土) 8(日)

会場: 千里ライフサイエンスセンター

大阪府豊中市新千里東町 1-4-2

<http://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/>

・日本公衆衛生学会

期日: H18.10.25(水) ~ 27(金)

会場: 富山県民会館 〒930-0006 富山県新総曲輪4番18号

富山国際会議場 〒930-0084 富山県大手町1番2号

<http://www.jsph.jp/>

・日本健康教育学会

期日: H18.6.23(金)24(土)

会場: 東京大学医学部鉄門記念講堂 およびセミナー室(医学部研究棟 14F, 13F)

<http://www.p.u-tokyo.ac.jp/~health15/main.htm>

・第 27 回全国歯科保健大会

会場: 長崎ブリックホール 詳細が分かり次第お知らせします。

・夏ゼミ

期日: H18.7.28(金) 29(土) 30(日)

会場: 神奈川県平塚市

質問コーナー！

“行歯会だより”では、日頃の疑問をメールリストで質問してみたいけれども気が引けるなあ…とされている方のために、質問コーナーを設けています。質問には、アドバイザー()の諸先生方にもご協力いただき、順次回答をまとめ行歯会だよりの中に掲載する形で答えしていきます。今回は第二弾として、国立保健科学学院の安藤先生にご協力いただき記事としてまとめました。

質問

住民の方から歯科診療等(例えばレーザーや3DSなど)について問い合わせがあった時に、自分の勉強不足のために返答に困ることがあります。その場合は何とかつくりかたとしても、後々やはりきちんと調べたいと、歯科関係の雑誌等から情報を得ていますが、ネットで検索する場合には、どのように検索したら正確な情報を得られますか?いきなり単語で検索すると、たくさんヒットしてどれが正しいのか不安です。歯科専門の検索サイトなどお勧めがありましたら教えてください。

回答

アドバイザー:国立保健医療科学院・口腔保健部 安藤雄一

ネット情報の信頼性について

インターネットは「情報の宝庫」であり、常時接続しているパソコンが近くにあれば辞書がわりに使えます。

しかし、インターネットは誰でも情報発信できることから、「ゴミ情報/ガセネタの宝庫」であることも事実です。

したがって、「ネットで検索すれば正しい情報に当たる」という幻想を捨てることも必要です。正しい情報を瞬時につかむ場合もあれば、正しくない情報に遭遇する場合もあれば、いつまで経っても必要な情報が得られない場合もある、それがインターネットなのです。

ネット上での検索方法について

様々な方法がありますが、ここでは、Google(グーグル)など自由な検索用語を用いる検索サイトの使い方について、ごくごく簡単に述べることにします。

ポイントは、検索用語を明確にすることです。これが不明確ですと、十分な検索は行われません。また検索用語を1つだけにするよりも、複数用いた方が、検索結果が絞り込まれますので、有用であることは言うまでもありません。また、複合語を用いる場合、Google では言葉を勝手に分解して検索しますので、“”の間に検索用語を入れて(“

”)のように検索すると便利です。

このほか様々な便利機能がありますが、Google のサイト(<http://www.google.co.jp/>)や、雑誌の記事、書籍などを参考にしてください

重要なことは、「必要以上に時間をかけない」ことです。なかなか思わしい検索結果が得られない場合は、そもそもインターネット上に求めている情報が載っていないと判断した方が時間の無駄を防ぐ意味でも正しい判断だと思います。一般的に「ない」の証明は「ある」の証明に比べて遙かに困難です。ネットは便利さがある反面、時間浪費の温床でもありますから、日頃から意識しておく必要があると思います。

なお、「歯科専門の検索サイト」に関するお尋ねですが、具体的にどのような内容かわからないとピンとはずれの答になってしまう可能性がありますので、今回、回答は控えさせていただきます。

4月のMLより

医療専門サイト <http://www.m3.com>

Medical IT Link(略称: MIL) <http://www.medical-it-link.jp/>

便利なサイトがありましたら、今後もみなさんMLの中でお知らせください。よろしくお願いいたします。

今後もMLへの投稿はもちろんのこと、素朴な疑問や困ったことがあったら、ぜひこのコーナーをご活用ください。

2005年10月、行歯会だよりの臨時増刊号としてアドバイザー紹介特集号を発行しております。ご覧ください。

「質問コーナー」のご利用手順は次に示すとおりです。

1. 「質問の内容」と「氏名(所属も明記)」を記載して、下記の「質問受け付け専用アドレス」宛に、メールを送ってください。 gyoushi_kai_q@yahoo.co.jp
2. その後、質問をアドバイザー等に回答していただくように手配します。(質問者の名前は出しません。)
3. 回答ができましたら、「行歯会だより」の「質問コーナー」に Q&A で掲載します。

その際、質問者は「匿名」とします。また、質問者への個別の回答は行いません。

以上のような流れですので、回答までに時間を要することをあらかじめご了承ください。

どうぞお気軽に、ご質問ください。お待ちしております！！